

地域ラグビーの活性化について

この2シーズン、北海道選手権大会、ひぐまリーグ、オーバー35、キリンカップ全てが中止となり、今年度のひぐまリーグも実施しないことが決定しました。北海道選手権大会は計画には挙がっているものの、コロナ感染状況により実施できるか否か分からない状況です。中止になった場合は、クラブチームにとっては活動継続に大きく影響するものと考えます。札幌支部の報告でも個人登録者数及び登録チームも大幅に減少していると聞いています。試合から遠ざかる期間が長くなればラグビー離れする人が更に増えるのではないかと危惧するところです。このような状況ですので、チームを纏める代表者の方はチームの活動継続にとっても苦慮されてることと推察致します。また、千歳市ラグビー協会としても2019年のワールドカップの盛り上がり絶やさないよう、今こそ地域ラグビーの立て直しに知恵を絞らなければいけないと思っている次第です。

そこで千歳市ラグビー協会としては、地域ラグビーの活性化とクラブの立て直しを急務と考え、当協会が全面的にバックアップし、合同練習会のイベントを計画致しました。

イベントの趣旨

- 1 練習目的を楽しいイベントにしてチーム活動の意識を高める。
- 2 試合・大会に繋げるウォーミングアップ
- 3 ラグビー離れにある選手、新人加入のきっかけ作り。

「集まれ青葉 !! ラグビー合同練習会」のイベント開催

3週末の日曜日に合同練習会を実施します。3週目の最終日はタッチラグビーの交流大会を実施し、楽しく段階的なトレーニングでチーム並びに選手個々の活動意識の醸成を目的としたイベントにし、各チームの立て直しに繋げる環境作りとして取り組みたいと考えています。

3週間位のスパンで実施するミニキャンプ的な合同練習、現時点のコロナ感染状況はワクチン接種の進んだ昨年10月頃のような感染者の減少は見られませんが、「ウイズコロナ」という環境の中で今できる最大限の感染対策をしながら、当協会所属チームは元より札幌近郊チームにも呼びかけ、沢山のメンバーでやるラグビーの楽しさ、喜びを感じて貰いたい。このイベントが参加した個人並びにチームに少しでもプラスになり、且つ、チーム及び地域ラグビーの活性化のカンフル剤になれば良いと企画するものである。

1週目	合同練習	段階的な基本練習でブラシアップ
2週目	合同練習	
3週目	タッチラグビー交流大会 ・チーム対抗、・エキスパートの部、エンジョイの部でのリーグ戦方式 ・各チームの試合数：4試合程度	